

第2章 世界規模で見る国際会議の動向

	本節で使用する「UIA 国際会議統計」について	14 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	15 頁
2	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	16 頁
3	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	17 頁
4	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	18 頁
5	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	19 頁

	本節で使用する「ICCA 国際会議統計」について	20 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	21 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	22 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	23 頁
9	都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）	24 頁
10	都市別 国際会議の開催状況②（アジア・オセアニア域内での比較）	25 頁

本章で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【UIA 国際会議統計の選定基準】

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 国際機関・国際団体（UIA に登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議
 - ① 参加者数 50 名以上
 - ② 参加国数 開催国を含む3カ国以上
 - ③ 開催期間 1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
 - ① 参加者数 300 名以上（うち40%以上が主催国以外の参加者）
 - ② 参加国数 開催国を含む5カ国以上
 - ③ 開催期間 3日以上

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」としてとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIA は、1907年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。6万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

1

大陸別 国際会議の開催状況

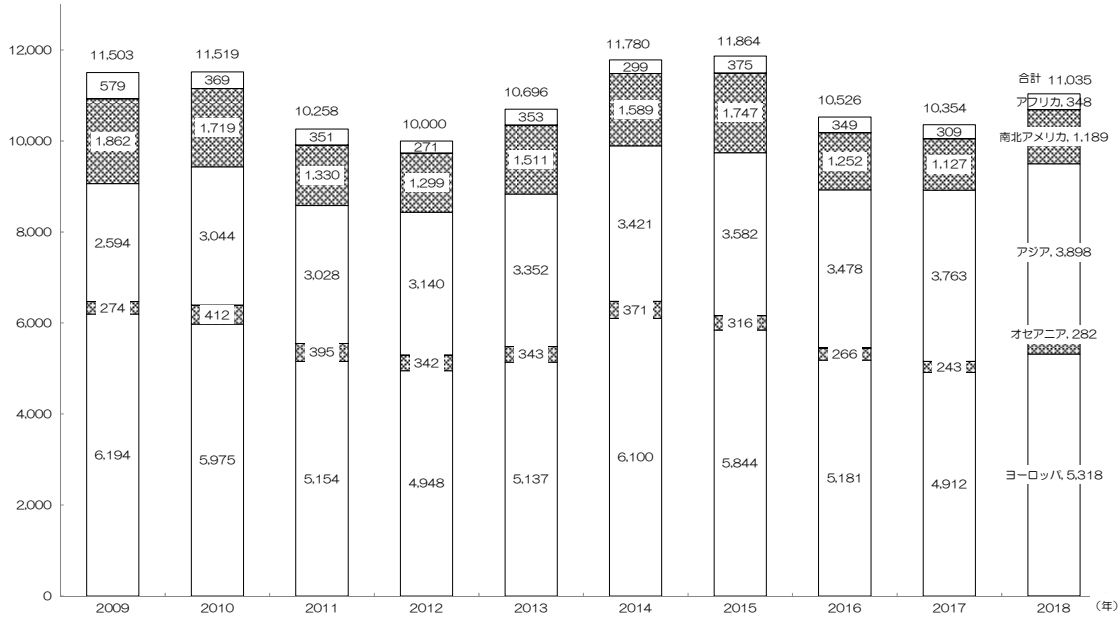
— 開催件数は各大陸とも増加し、前年比 6.6%増 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2018 年の国際会議開催件数は前年比 6.6%増の 11,035 件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1 位ヨーロッパ (5,318 件、48.2%)、2 位アジア (3,898 件、35.3%)、

3 位南北アメリカ (1,189 件、10.8%)、4 位アフリカ (348 件、3.2%)、5 位オセアニア (282 件、2.6%) の順で、各大陸とも開催件数が増えた。

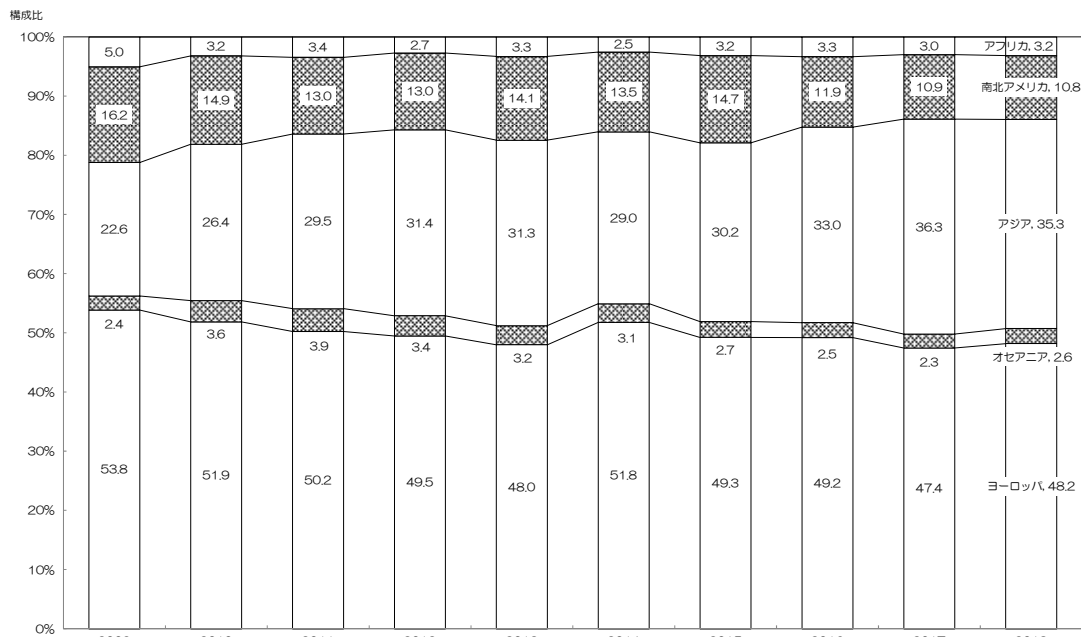
図表 2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2009 年~2018 年)



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。
 注：図表 2-1 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：上記の数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

図表 2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2009 年~2018 年)



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。
 注：図表 2-2 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

2

国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

－ 日本が世界第5位にランクアップ －

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2018 年の国際会議開催件数（上位 30 位）を国別で見ると、1 位シンガポール（1,238 件）、2 位韓国（890 件）、3 位ベルギー（857 件）、4 位アメリカ（616 件）、5 位日本（597

件）と続き、6 割以上を欧米が占める中、日本は昨年 6 位からランクアップして 5 位に浮上した。また、アジア 3 カ国が 5 位以内にランクインし、特にシンガポールと日本は件数を大幅に増やした。

図表 2-3 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2009 年～2018 年）〈2018 年上位 30 位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
シンガポール	689	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238
韓国	347	464	469	563	635	636	891	997	1,297	890
ベルギー	470	597	533	597	505	851	737	953	810	857
アメリカ	1,085	936	744	658	799	858	929	702	575	616
日本	538	741	598	731	588	625	634	523	523	597
オーストリア	421	362	390	458	398	539	383	404	591	488
フランス	632	686	557	494	408	561	590	523	422	465
スペイン	365	572	386	449	505	513	480	423	440	456
イギリス	347	375	293	272	349	355	354	266	307	333
ドイツ	555	499	421	373	428	439	472	390	374	305
オランダ	458	329	299	177	282	350	340	332	218	286
カナダ	229	221	186	228	213	228	285	165	242	262
イタリア	391	357	269	262	294	330	385	183	163	236
オーストラリア	227	356	329	287	283	287	253	197	183	222
スイス	336	322	219	166	216	328	258	234	228	210
ノルウェー	151	172	169	164	172	149	164	135	132	191
ポルトガル	194	145	160	142	136	150	204	189	181	187
タイ	131	82	126	89	84	280	300	279	312	185
フィンランド	166	152	159	160	164	169	156	166	151	174
マレーシア	71	100	125	141	137	103	204	98	90	172
アラブ首長国連邦	57	85	103	84	99	153	157	185	197	170
スウェーデン	246	161	161	165	118	189	129	152	152	165
デンマーク	162	130	126	175	98	142	151	134	154	147
チェコ	199	82	65	67	96	79	89	56	60	135
中国（香港、マカオ除く）	173	236	200	155	210	193	144	131	108	132
インド	138	164	103	90	87	79	88	72	71	80
ポーランド	114	74	114	63	118	94	119	81	52	80
インドネシア	59	48	53	47	85	61	71	54	40	70
ギリシャ	107	92	70	64	84	79	82	58	44	67
南アフリカ共和国	112	67	91	78	114	104	111	134	80	64

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。
注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

3

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は3位を堅持 —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2018年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1位シンガポール(1,238件)、2位韓国(890件)、3位日本(597件)の順となり、日本は対前年74件増であった。日本の他に前年に比べて国際会議開催件数が増えた上位国は、

シンガポール(361件増)、マレーシア(82件増)、オーストラリア(39件増)、インドネシア(30件増)、フィリピン(25件増)、中国(香港、マカオ除く)(24件増)、インド(9件増)で、減った上位国は、韓国(407件減)、タイ(127件減)であった。

図表2-4 国・地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2009年~2018年)〈2018年開催件数10件以上を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
シンガポール	689	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238
韓国	347	464	469	563	635	636	891	997	1,297	890
日本	538	741	598	731	588	625	634	523	523	597
オーストラリア	227	356	329	287	283	287	253	197	183	222
タイ	131	82	126	89	84	280	300	279	312	185
マレーシア	71	100	125	141	137	103	204	98	90	172
中国(香港、マカオ除く)	173	236	200	155	210	193	144	131	108	132
インド	138	164	103	90	87	79	88	72	71	80
インドネシア	59	48	53	47	85	61	71	54	40	70
フィリピン	40	41	39	24	44	34	49	26	34	59
ニュージーランド	31	38	37	34	32	55	35	47	37	39
ベトナム	37	44	17	31	32	25	26	10	15	39
香港	43	54	46	62	112	41	49	67	39	38
台湾	37	67	54	44	58	57	43	32	30	32
ミャンマー	5	2	5	1	5	92	10	2	3	22
カンボジア	16	4	6	9	4	8	14	4	3	15
ブルネイ	11	10	3	6	3	5	6	0	0	13
ラオス	7	2	2	3	3	9	1	0	0	13
イラン	18	12	10	6	10	9	15	10	10	10
ネパール	8	7	8	8	5	3	6	7	4	10

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及びUIAの地域別区分を採用した。
注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

4

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

ー シンガポールと東京が大幅増ー

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2018 年の国際会議開催件数を都市別で見ると、1 位のシンガポール（1,238 件）と 5 位の東京（325 件）が前年に比べて国際会議開催件数が大幅に増え、シンガポールは 361 件増、東京は 56 件増で増加率も高かった。

図表 2-5 都市別 国際会議の開催件数（世界全体）（2009 年～2018 年）〈2018 年上位 30 位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
シンガポール	689	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238
ブリュッセル	395	486	464	547	436	787	665	906	763	734
ソウル	151	201	232	253	242	249	494	526	688	439
ウィーン	311	257	286	326	318	396	308	304	515	404
東京	134	190	153	225	228	228	249	225	269	325
パリ	316	394	336	276	180	325	362	342	268	260
マドリッド	61	175	116	149	165	200	140	159	159	201
ロンドン	125	164	105	119	144	125	126	98	166	186
バルセロナ	148	193	150	150	195	193	187	182	193	152
リスボン	115	91	96	93	72	106	147	142	135	146
ジュネーブ	183	189	121	90	126	173	172	162	158	145
釜山	41	93	82	50	148	132	150	152	212	131
ベルリン	171	165	149	89	89	167	215	197	198	131
プラハ	170	64	54	62	80	65	74	55	54	131
コペンハーゲン	127	102	105	150	65	120	117	111	131	130
ヘルシンキ	76	73	70	102	84	102	90	121	108	128
バンコク	81	61	88	65	55	189	242	211	232	121
ストックホルム	159	92	109	113	48	112	87	112	113	119
ドバイ	32	56	74	67	75	136	128	158	120	111
シドニー	81	137	103	103	124	120	107	72	76	109
モントリオール	77	77	60	77	82	74	108	71	146	106
アムステルダム	126	131	118	60	114	167	125	155	98	98
クアラルンプール	49	61	70	88	84	50	140	60	54	96
オスロ	69	64	74	69	87	67	79	59	59	92
トロント	33	27	37	28	30	43	42	27	26	79
濟州島	61	67	68	78	82	85	112	116	139	76
仁川	26	22	24	25	25	30	19	53	66	70
京都	39	61	48	84	52	56	56	53	36	58
ハント	21	36	22	15	16	10	17	15	7	58
ニューヨーク	95	127	49	40	52	77	75	68	57	57

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。
注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

5

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は5都市が上位30都市入り —

【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2018年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、1位シンガポール(1238件)、2位ソウル(439件)、3位東京(325件)の順であった。

日本の都市では、東京に加え、京都(58件)、横浜(28件)、神戸(21件)、福岡(20件)の5都市が30位に入った。

図表2-6 都市別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2009年~2018年)〈2018年上位30位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
シンガポール	689	725	919	952	994	850	736	888	877	1,238
ソウル	151	201	232	253	242	249	494	526	688	439
東京	134	190	153	225	228	228	249	225	269	325
釜山	41	93	82	50	148	132	150	152	212	131
バンコク	81	61	88	65	55	189	242	211	232	121
シドニー	81	137	103	103	124	120	107	72	76	109
クアラルンプール	49	61	70	88	84	50	140	60	54	96
濟州島	61	67	68	78	82	85	112	116	139	76
仁川	26	22	24	25	25	30	19	53	66	70
京都	39	61	48	84	52	56	56	53	36	58
北京	80	79	90	80	66	73	42	56	30	45
香港	40	54	45	62	112	41	49	67	39	38
マニラ	21	24	24	15	22	21	35	15	23	38
大邱	8	8	20	25	24	18	14	35	43	37
メルボルン	39	92	99	75	73	62	46	36	31	31
デリー	57	57	36	37	30	22	30	26	28	30
横浜	54	82	84	80	51	50	31	36	32	28
チェンマイ	6	2	13	11	4	17	17	28	28	27
オークランド	10	15	18	11	17	34	21	25	20	25
ジャカルタ	13	10	11	10	14	16	21	8	13	25
ブリスベン	33	35	24	38	19	28	20	17	23	23
上海	34	63	33	18	57	28	26	27	16	23
台北	23	57	38	36	39	38	35	25	21	22
神戸	40	45	28	38	22	25	35	18	7	21
ハノイ	23	24	9	22	18	11	13	4	6	21
福岡	30	20	28	36	5	4	17	20	11	20
クチン	-	15	15	17	20	25	13	8	12	20
浦項	-	1	2	8	3	9	1	9	15	19
バリ島	20	17	28	17	37	21	30	35	14	18
ネピドー	1	-	4	1	2	69	6	-	-	18

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及びUIAの地域別区分を採用した。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が ICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。本節では、2019 年作成時における暫定値を掲載しています。

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

6

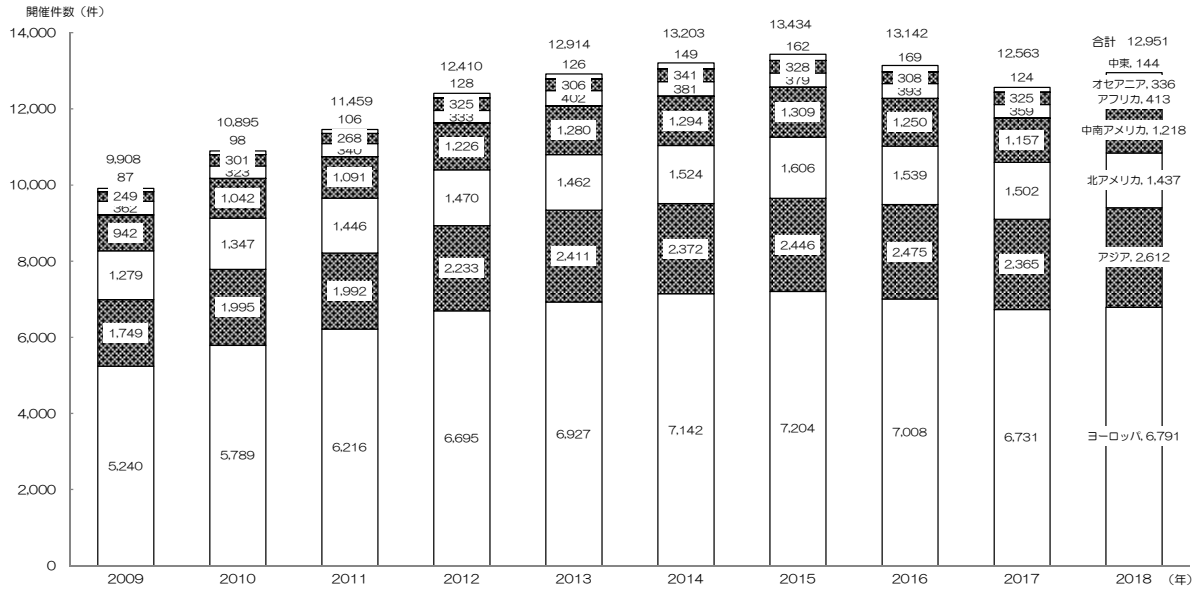
大陸別 国際会議の開催状況

— アジアが初めてシェア2割超 —

【ICCA 国際会議統計】

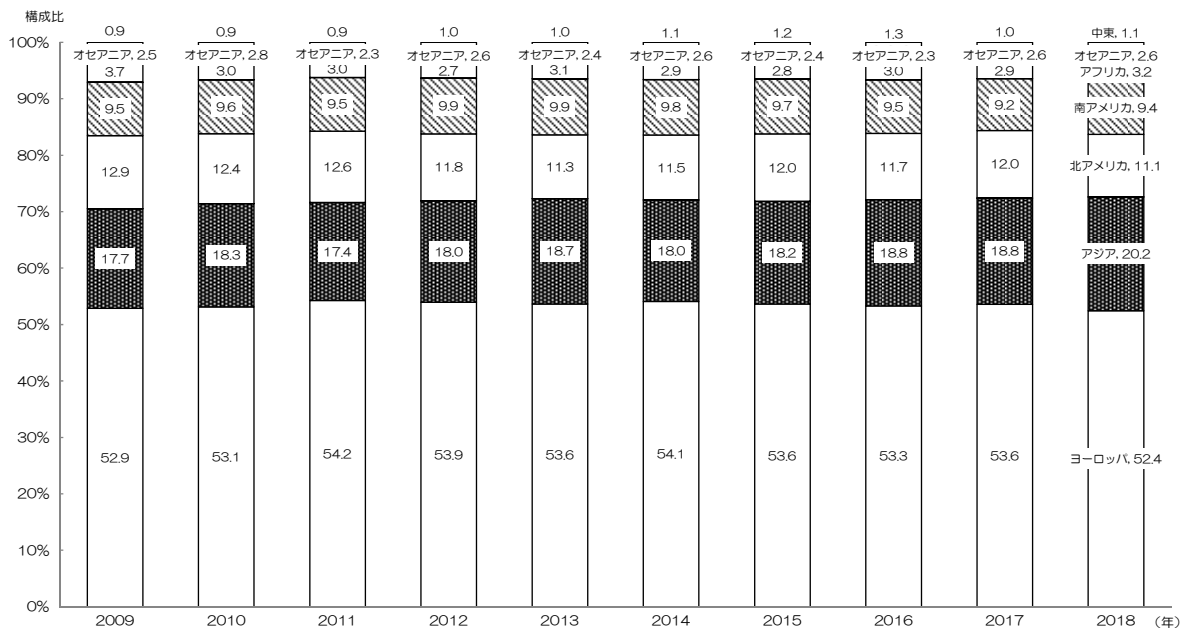
ICCA 統計による2018年の国際会議開催件数は12,951件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1位ヨーロッパ(6,791件、52.4%)、2位アジア(2,612件、20.2%)、3位北アメリカ(1,437件、11.1%)の順であり、ヨーロッパの割合が52.4%と過半を占めているが、アジアの割合が過去10年間で初めて2割を超えた。

図表2-7 大陸別 国際会議の開催件数 (2009年~2018年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、「ICCA Statistics Report (2018)」
 注：図表2-7の「アジア」には、ICCAの地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアとトルコは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。
 ICCA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

図表2-8 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2009年~2018年)



出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、「ICCA Statistics Report (2018)」
 注：図表2-8の「アジア」には、ICCAの地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアとトルコは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも100にならない。
 ICCA国際会議統計資料に基づきJNTOが作成

7

国・地域別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 上位6位までを欧米が独占、日本は欧米以外ではトップ —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2018年の国際会議開催件数（上位30位）を国別で見ると、上位6位までを欧米が独占している。欧米以外では日本

がトップで、世界第7位（アジアでは首位）となった。日本は492件で過去10年間で最高を記録した。

図表 2-9 国・地域別 国際会議の開催件数（世界全体）（2009年～2018年）〈2018年上位30位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
アメリカ	870	888	969	975	960	1,024	1,067	1,022	941	947
ドイツ	548	611	632	692	753	744	725	729	682	642
スペイン	384	505	493	550	535	574	582	575	564	595
フランス	421	473	487	553	590	613	584	575	506	579
イギリス	412	516	511	556	613	629	659	624	592	574
イタリア	483	462	460	486	524	558	570	499	515	522
日本	327	365	279	373	392	394	401	431	414	492
中国（香港、マカオ除く）	345	391	415	408	465	452	430	463	376	449
オランダ	291	234	315	336	327	349	350	389	307	355
カナダ	251	277	282	304	308	289	336	303	360	315
ポルトガル	181	210	256	228	267	233	296	311	298	306
韓国	210	217	237	253	297	273	297	276	279	273
オーストラリア	200	256	211	260	247	287	266	225	258	265
スウェーデン	208	225	209	266	251	266	230	273	255	257
ベルギー	173	221	214	233	253	225	253	219	208	252
オーストリア	226	218	277	273	247	307	265	284	281	240
ブラジル	247	250	285	341	308	294	324	259	237	233
アルゼンチン	156	197	162	185	203	200	189	195	199	232
ポーランド	141	140	198	171	194	201	216	212	216	211
スイス	192	243	233	243	221	247	210	208	230	208
タイ	104	87	104	158	151	133	165	181	163	193
デンマーク	163	155	157	209	187	181	223	188	203	192
台湾	118	156	160	153	149	183	150	154	141	173
メキシコ	152	178	187	183	183	200	199	208	198	172
ギリシャ	131	140	165	132	119	175	177	172	144	166
チェコ	116	142	142	140	170	167	185	165	187	162
ノルウェー	130	131	124	165	138	128	161	152	156	161
インド	125	120	130	168	163	138	155	153	175	158
コロンビア	93	97	101	127	133	168	144	160	142	147
アイルランド	74	85	112	132	152	122	131	163	158	146

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、 「ICCA Statistics Report (2018)」
注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

8

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本が首位、上位5カ国で6割近くを占める —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2018 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、日本（492 件）、中国（香港、マカオを除く）（449 件）、韓国（273 件）、オーストラリア（265

件）、タイ（193 件）が上位 5 位を占め、この地域におけるシェアの 6 割近く（59.1%）を占めている。

図表 2-10 国・地域別 国際会議の開催件数（アジア・オセアニア域内）（2009 年～2018 年）（2018 年開催件数 10 件以上を抜粋）

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
日本	327	365	279	373	392	394	401	431	414	492
中国（香港、マカオ除く）	345	391	415	408	465	452	430	463	376	449
韓国	210	217	237	253	297	273	297	276	279	273
オーストラリア	200	256	211	260	247	287	266	225	258	265
タイ	104	87	104	158	151	133	165	181	163	193
台湾	118	156	160	153	149	183	150	154	141	173
インド	125	120	130	168	163	138	155	153	175	158
シンガポール	86	148	153	150	173	143	160	159	160	145
マレーシア	112	124	126	128	119	151	132	122	112	134
香港	79	90	113	104	104	113	132	112	119	129
インドネシア	47	84	76	94	123	90	97	102	89	122
フィリピン	42	49	39	54	57	56	64	69	56	64
ニュージーランド	43	41	54	57	53	47	52	70	55	64
ベトナム	43	45	31	47	61	58	51	52	64	57
マカオ	16	18	13	14	19	23	25	36	39	39
スリランカ	3	13	16	20	21	27	23	25	19	24
ネパール	8	6	9	8	6	9	13	11	15	16
カンボジア	8	4	7	7	7	12	12	12	14	12
バングラディシュ	4	5	9	9	6	13	7	8	5	10
モンゴル	5	5	5	8	6	8	6	7	6	10

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」,「ICCA Statistics Report (2018)」

注：図表 2-10 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

9

都市別 国際会議の開催状況①（世界全体での比較）

— 欧州が上位30都市の過半数を占める中、アジアもシェア拡大 — 【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2018年の国際会議開催件数を都市別で見ると、
上位をヨーロッパの都市が占め、圧倒的な優位を保っている。

世界上位30都市におけるアジア・オセアニア地域が占めた割合は
28%へアップした。

図表 2-11 都市別 国際会議の開催件数（世界全体）（2009年～2018年）〈2018年上位30位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
パリ	134	184	196	217	230	250	206	203	190	212
ウィーン	137	163	169	180	177	209	180	194	190	172
マドリード	74	98	112	132	145	172	159	153	153	165
バルセロナ	124	167	160	161	173	176	182	192	195	163
ベルリン	115	159	144	167	171	208	199	182	185	162
リスボン	100	102	114	107	129	112	151	151	149	152
ロンドン	96	135	144	182	200	196	206	166	177	150
シンガポール	86	148	153	150	173	143	160	159	160	145
プラハ	88	113	112	120	139	127	137	134	151	136
バンコク	71	49	59	99	99	82	112	123	110	135
フエノスアイレス	85	121	84	90	107	100	85	108	131	133
香港	79	90	113	104	104	113	132	112	119	129
東京	70	87	59	64	94	101	96	102	101	123
アムステルダム	116	101	118	118	122	140	124	154	112	123
ソウル	109	116	113	121	146	132	134	137	142	122
コペンハーゲン	106	98	104	148	128	114	153	121	115	120
ブリュッセル	86	102	102	120	120	132	135	108	90	112
ダブリン	54	66	87	100	125	97	102	122	117	104
ストックホルム	102	91	87	126	90	100	92	108	97	103
ブダペスト	86	94	110	109	102	102	112	114	128	100
台北	79	111	104	99	96	115	107	92	76	100
ローマ	94	93	109	115	130	124	105	105	96	93
北京	139	142	132	134	136	123	113	129	81	93
アテネ	70	70	69	56	58	95	96	80	76	90
モントリオール	57	58	62	67	69	55	86	78	96	87
シドニー	62	90	52	89	98	83	92	70	76	87
エジンバラ	38	64	50	67	58	77	69	77	70	85
上海	55	84	89	74	87	95	68	84	61	82
ワルシャワ	40	36	78	50	71	68	72	76	89	76
トロント	41	48	51	52	66	59	65	58	73	75

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、ICCA Statistics Report (2018)」

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

10

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は6都市が上位30都市入り —

【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による2018年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、日本の都市では東京(123件)、京都(59件)、福岡(26件)、横浜(25件)、仙台(22件)、神戸(21件)

と6都市が30位に入り、日本の件数シェアは15.4%(昨年より3ポイントアップ)であった。

図表2-12 都市別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2009年~2018年)〈2018年上位30位を抜粋〉

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
シンガポール	86	148	153	150	173	143	160	159	160	145
バンコク	71	49	59	99	99	82	112	123	110	135
香港	79	90	113	104	104	113	132	112	119	129
東京	70	87	59	64	94	101	96	102	101	123
ソウル	109	116	113	121	146	132	134	137	142	122
台北	79	111	104	99	96	115	107	92	76	100
北京	139	142	132	134	136	123	113	129	81	93
シドニー	62	90	52	89	98	83	92	70	76	87
上海	55	84	89	74	87	95	68	84	61	82
クアラルンプール	75	79	74	84	70	85	78	70	65	68
メルボルン	38	54	63	57	58	66	53	59	67	66
京都	38	43	40	65	48	52	49	58	46	59
マニラ	31	28	30	42	39	36	51	47	42	48
ニューデリー	34	45	41	53	43	40	45	43	59	43
バリ島	24	44	33	56	54	45	44	45	40	40
済州島	32	32	42	40	44	47	45	33	37	40
マカオ	16	18	13	14	19	23	25	36	39	39
オークランド	18	14	26	24	20	19	27	33	22	39
釜山	13	19	27	27	30	33	32	32	33	35
ブリスベン	33	28	25	37	25	45	31	35	29	33
杭州	7	15	25	23	25	19	35	17	18	28
西安	21	13	20	18	15	24	14	22	22	27
福岡	18	19	20	25	14	20	28	24	17	26
ジョグジャカルタ	3	6	8	1	12	13	10	14	15	26
横浜	26	28	18	18	23	22	26	21	16	25
チェンマイ	18	5	19	20	12	14	16	21	21	25
ハノイ	28	29	6	20	31	24	26	19	18	23
ジャカルタ	11	17	16	18	27	21	24	16	13	23
仙台	13	7	3	7	8	9	11	13	7	22
神戸	14	16	16	22	18	15	15	21	10	21
台中	5	4	7	3	8	6	4	8	16	21

出典：ICCA(2018)「ICCA Statistics report Worldwide 2008-2017」、「ICCA Statistics Report (2018)」

注：図表2-12で取り上げた「アジア」の領域は、ICCAの地域別区分による。

注：ICCAでは、国際会議の件数を過去に遡って常時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成